

M. F. 英語英文学科・4年次

I. 留学レポート

① 留学決定から出発までの準備期間

ビザを取りに行ったり、持って行く物を揃えたり、バイトをしていると、すぐに出発の時になってしまいました。

② 語学研修期間

語学研修1：月～金曜、朝9時半から授業が1日、2つか3つあります。金曜日は午前中だけでした。授業の内容は、writing・listening・speakingに関するもので、インターナショナルビルディングの先生方が優しく教えてくれます。エッセイが3回くらい、プレゼンテーションを1回しました。

クラスは少人数で、私の時は、日本人8人・中国人2人の10人で（次からは、もっとインターナショナルスチューデントを増やしたい、と先生が言っていたので割合などは変わると思います。）、3ヶ月間一緒にいるので、日本人同士とも英語で話すようにし、10人全員、とても仲の良いクラスでした。

語学研修2：正規の授業を受ける1ヶ月くらい前なので、語学研修1より、少しレベルアップした授業になります。内容は、引き続きwritingや、レクチャーやセミナーを受けるための準備、という感じの授業に変わります。エッセイを1つ、プレゼンテーションを1回しました。生徒の人数も増えて、1クラス15人前後で、日本人の割合はクラス全体の2～3割になるので、中国人などの友達が増えると思います。

③ 正規科目履修期間

・履修科目（決定までのプロセス、具体的に履修した科目名とその内容

科目は、1年生の授業であれば、だいたい取れると思います。ただ、英文科・演劇科の授業などは難しいので、先生には取らない方がいいと言われました。私は、勉強したことはないけど、自分にとって興味がある分野から科目を選びました。

Psychology から、Self & Society(秋) と Learning & Memory(春)を取りました。

・Self & Society は週1回、2時間のレクチャーと、visiting students のみでチュートリアルが2回ありました。人が成長して行く中での気持ちの変化、人の性格はどのようにして決まるか、分析できるか、など興味深いトピックが多くありました。

・Learning & Memory は週1回、2時間のレクチャーのみでした。（多分、心理学は基本セミナーがないのだと思います。）短期記憶、長期記憶、なぜ人は忘れるのか、どのようにすれば長く覚えておけるのか、など身近に感じるすることができるトピックが多く、レクチャーを受けていて、楽しかったです。

Health & Social Care から Introduction to Social work practice(通年)を取りました。

週1回、2時間のレクチャーのみでした。Social Worker になるには、どのような Skill が必要か、どのように利用者と接していくべきか、どのように周りの人と協力して良い環境を作っていくか、などの Social Work の基礎的な事を習います。初めての分野で、興味はあったのですが、あまりにも知識がなさすぎて、難しいと感じました。周りの生徒は、も

う既に Social Worker として働いている人も多くいました。

・授業、レポート、定期試験

試験は受けられないので、エッセイが代わりに出されました。エッセイは、心理学の授業 1 つに対して 2 つずつ(1500words と 2000words)、Health & Social Care は 2 つ (1000words と 3000words) 出しました。

授業は、正規の授業を週 4 時間分・Language course の授業を週 4 時間分取っていました。

④ クラブ、課外活動、ボランティア活動

・クラブは、ゴスペルに入っていました。週 1 回の練習ですが、友達もできるし、みんなで歌うのは楽しいし、コンサートも何回かあって、とても充実していました。

・課外活動としては、毎日曜日、空いている時は教会に行っていました。私は特にクリスチャンというわけではないのですが、友達が紹介してくれて行くことにしました。教会では友達が多くできますし、新しい世界を知ることができて、良い経験になりました。

・ボランティア活動としては、1 度だけ、学校にあるボランティアの活動に参加しました。古くなった学校の施設の小さな家に、ペンキを塗るという作業でした。

⑤ 現地での住まい（語学研修期間、正規科目履修期間）について（寮・ホームステイの決定方法、設備、イベント紹介など）

寮に住んでいました。部屋は小さめですが、トイレもシャワーも部屋についているので、不便はないと思います。8 人フラットで、キッチン共同です。大学のメインキャンパスまで歩いて 5 分、奥の建物でも 10~15 分で着きます。1 年間、同じ寮に住みます。（寮は出発前にインターネットで登録します。）

⑥ 長期休暇の過ごし方

イギリス内やヨーロッパの国に旅行に行きました。年越しはロンドンアイの近くで、12 時になるのを待って花火を見ました。

⑦ 留学期間中の就職活動の取り組み

リクナビなどに、登録しただけで、私はエントリーもほとんどしませんでした。

II. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

友達ができからは、友達と何処かへ遊びに行ったり、話しているだけで、とても楽しく毎日充実していました。あと、自分達で計画して行った旅行は、とても記憶に残っています。

② 留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

うまく自分の言いたい事が伝わらない時や、言えなかった時は、悔しかったですし、辛かったです。あと、エッセイが多い時期は、締め切りに追われて、苦労しました。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

5 時になると、お店が閉まってしまうこと。冬は暗くなるのが、本当にとっても早いこと。電車やバスが時間通りに来ないこと。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

良かった点：インターナショナルビルディングの先生方はとても優しく、親切です。毎週、担当の先生との面談もあって、ケアしてくれました。9月から、正規授業が始まれば、予習やエッセイで少し忙しくなりますが、大学が活気づくので、友達も増えて、毎日充実した生活を送れました。あとロンドンまで40分～1時間くらいで出られるので、ロンドン観光や、他の場所・国にも比較的簡単に旅行に行けます。

悪かった点：最初の3ヶ月の語学勉強期間は、大学が試験期間のため、周りにあまり生徒がいなく、とても静かでした。あと、Egham自体は都会ではないので、スーパーまで徒歩20分くらいかかることに少し不便を感じたりしましたが、慣れると安全で住みやすい場所ですし、バスで移動も簡単でした。

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの（パソコン持参の有無も含めて）

パソコンは持って行った方がいいと思います。あと、コンセントのアダプターや変圧器も、日本から持って行くモノを寮で使いたければ、必要だと思います。

③ 語学力の向上等、留学の成果

私はリスニング力が一番伸びたと思います。毎日英語に触れるので、耳が慣れて、聞き取るのが、より簡単になってきます。スピーキングも、日本にいる時にはできない、フラットメイトや友達と会話を楽しむ中で伸ばすことができたと思います。ただ、自主勉強をすれば、もっと伸びただろうなと感じています。

語学力以外では、自分の視野が広がったと思います。イギリスや、いろんな国からの友達との会話の中で、小さくても新しい発見があり、相手の文化を知り、それを受け入れながら一緒に生活をしていくので、物事をいろんな方向から見ることができます。そして、1年間、日本を離れて、自分で生活しなければいけないので、精神的に少し強くなりました。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

語学学校に行くのとは違って、大学の正規の授業を受けられるというのは、協定留学の一番の魅力だと思います。留学は必ずいい経験になるので、ぜひ充実した1年を海外で過ごして下さい。

IV. 写真



雪が降った日に、大学の校舎を背景に撮りました。校舎は古いですが、初めて見た時は、イギリスに来たんだ、と感動しましたし、何度見ても綺麗です。天気がいい日に、中庭でお昼を食べたりするのも楽しいです。



フラットのキッチンでは、よく友達と集まって夕食を食べたり、バースデーパーティをしたりしていました。